大阪のビジネスを熱くする

b platz press
ビープラッツプレス

大阪市の中小企業情報紙
大阪産業創造館
http://www.sansokan.jp/

2011.06 JUNE VOL.125

新規事業、業態転換、新市場参入…「次の一手」への決断

さて、金型技術をアピールするためにつくった商品は何でしょう？

二人が手にするピンク、グリーン、ホワイトに彩られたおしゃれな小型プラスチック箱の正体は、つけまつげを入れるケース。商品化したのは東大阪の金型メーカー、日清精工だ。なんともギャップのある組み合わせだが、商品化には同社ならではの技術が生かされている。

業界を取り巻く環境が厳しくなる中で、独自の価値を生み出そうと2年前に開発したのがDFD（デジタルフリーデザイン）技術。金属表面に立体の模様を作るシボ加工は従来、金型を腐食させて加工していたが、3次元CADでデザインしたままに切削する方法により、イメージ通りでかつコストを抑えたシボ加工を実現した。しかし、DFDを採用してもらうべく取引先を回ったが「実績がないと」と断られるばかり。「それならば自社で商品を作ろう」と社員が立ち上がった。

女性アルバイトの「外出時に、つけまつげの収納に困っている」という意見をもとに商品開発がスタート。社長も街頭に繰り出し、「どんなケースがほしいか」と女性にニーズを尋ねてまわった。試作をしては使い勝手を女性社員に試してもらい、設計と製造現場で意見を戦わせながら改良を重ねた結果、素材には熱に強いABS樹脂を用い、ケース表面にデザインしたツタはDFDを使って立体感を表現。商品、パッケージデザインまで社内デザイナーが担当し、コストを抑えるため、社員総出で組み立てまで手がけた。

最も苦労したのは販路探しだ。美容室、ダンススクールを訪ねては断られ、知り合いの知り合いを頼ってようやく行き着いた卸業者を通じて大手生活雑貨店に置いてもらえることになった。

現在、第2弾商品のアイデアも温めており、「難易度の高い金型技術を駆使した製品をつくることで、結果的にはDFDの販路拡大につながる」と岩谷卓児常務。「ひょうたんから駒」の産物が親孝行する日が待ち遠しい。

株式会社日清精工
http://www.nissinseikou.com/
TEL 06-6727-3717

アルミ消耗品のノウハウ生かし、窓用機能性シート市場に参入

1958年に日本で初めてクッキング用のアルミホイルを発売して以来、半世紀以上にわたってアルミ箔を用いた家庭用商品の開発・製造に取り組んできた。中でも主力商品として屋台骨を支えてきたのが2口ガスコンロの汚れを防ぐガスマット。ところがシステムキッチンや電磁調理器の普及とともに1997年代以降売上げが鈍り、新規分野の商品を開発する必要に迫られることになる。

模索を続けながら生み出された、窓に貼る「窓シートハーフミラー」や花粉やほこりをキャッチする「網戸フィルター」は予想以上にヒットした。しかし喜びもつかの間、後追いの安い類似商品に市場は奪われる。「悔しかったが、これがいい教訓になった」と松井氏は振り返る。

「真似されない」商品を開発するための挑戦が始まった。目隠し用シートの購入者に窓のシートに何を求めているかを探るため、アンケート調査をとったところ「窓の日射熱、紫外線をカットしてほしい」というニーズが高く、「きれいに貼れるか不安」という声も圧倒的に多いことがわかった。環境に対する意識の高まりもふまえ、開発コンセプトは定まった。

素材には透明度が高いポリエステルを使い、塩ビを使う他社製品と差別化を図った。また、従来の粘着タイプから吸着タイプに替え、何度でも簡単に貼り直しができるようにした。日射熱、紫外線カットについては、環境省が設けるETV（環境技術実証事業）の認証取得をめざし、目標に掲げた指標をクリアするため改良を重ねた回数は18回。昨夏、3年がかりで、日射熱を74%、紫外線を97%それぞれカットする効果を持つ「吸着窓シート」の販売にこぎつけた。「途中何度もあきらめかけましたが、ニーズは確実にあるという裏づけが支えになりました」と松井氏。

需要期の夏場を迎え、今年が本格販売のスタートの年になる。貼りやすさや熱のカット効果を体感できるPOPや装置を店頭に用意し、メリットがわかりやすく伝わる工夫を凝らす一方、東日本大震災の影響で電力供給が心配される中、「節電」効果を前面に打ち出した商品も送り出した。

「ようやくスタートラインに立った。今後は、もっと簡単にきれいに貼れるシート、防犯シートなどの改良・開発も進めたい」と、「総合窓シートメーカー」の確立に向け、力強い一歩を踏み出しつつある。

東洋アルミエコープロダクツ株式会社
コンシューマー事業部 開発営業部
マネージャー **松井 哲也**氏
http://www.toyoalumi-ekco.jp/
TEL 06-6261-1123

会社DATA
設立／1969年　資本金／2億円
従業員数／172名
事業内容／アルミニウム箔をいろいろな形状に成型する技術を生かし、業務用商品群はもちろん、家庭向けにアルミ箔を加工した商品群を開発。今後はキッチンからリビング周りの商品開発にも力を入れていく。

1958年
日本で初めてクッキング用アルミホイル発売

◀現在は「抗菌クッキングホイル」として発売している

1997年ごろ

▲かつての中核商品だった「ガスマット®」

2002年ごろ

◀新規分野での商品開発がスタート。花粉・ホコリの侵入を防ぐ「網戸フィルター」を開発するもすぐ廃番に

●主力商品が頭打ち
●生活者ニーズの存在
●環境意識の高まり

2007年

▶2007年から3年間で実施した実験は18回。商品開発のプロセスでは繰り返し会議が行われる

2010年7月

▶UVを95%カットする「吸着窓シート透明タイプ」日射熱を74%カットする「吸着窓シートアルミタイプ」を発売

2011年夏

◀貼りやすさや庶熱効果を店頭で体感できるディスプレイ

大阪市×金融機関でいっしょにやりまひょ
中小企業応援団PROJECT
www.sansokan.jp/supporters/

大阪市の中小企業支援拠点「大阪産業創造館」と、在阪の金融機関が協同して中小企業の皆さんの販路開拓や売上拡大を応援する取り組みです。

Information

【新規パートナー募集説明会】
インバウンド観光ビジネス編
～訪日中国人など外国人観光客向け新サービスを開発しよう～

鉄道会社・旅行社・デパートなど大阪を中心とした関西全域の観光事業に携わる企業が、外国人観光客向けの「ツール」「イベント提案」など、新サービス開発に関するビジネス提案を募集する。

日 時 7月15日(金) 11:00～12:30　費 用 無料
場 所 大阪産業創造館4F イベントホール

Information

【新規パートナー募集説明会】
湯快リゾート編
～ホテル・温泉ビシネスに新たな企画・商品を提案しよう！～

西日本で温泉旅館（温泉ホテル）の運営を行う湯快リゾート株式会社が、本物の〝寛ぎ〟を手頃な価格で様々な方々に気軽に楽しんでいただけるよう、新たな企画・商品・サービスを幅広く募集する。

日 時 7月15日(金) 13:30～15:00　費 用 無料
場 所 大阪産業創造館4F イベントホール

塗装会社が内装リフォームスクールを開講?!

創業以来、幅広い業種の顧客を開拓して各種塗装技術を自社のものとし、併せてその強みを生かした新事業の開拓にも取り組んできた。「異業種交流会をはじめ常に外にアンテナをはることで事業のヒントを得てきた」と話す大熊氏が、1年前に着目したのが賃貸住宅の内装リフォームの市場だ。

住宅市場の冷え込みでマンションオーナーも施工業者も材料供給業者も萎縮していた。しかし、内装リフォームのビジネスをつぶさに見ると、「施工業者が各分野の職人を集め、さらにマージンを上乗せするから値段が高くなってしまっている」という問題点が見えてきた。「値段を抑えればオーナーのリフォーム意欲が湧き、リフォームが進めば借り手が見つけやすくなる」と考えた。「工程を各職人で分担せず一人が塗装、クロス、床、すべての技術を身につけ多能工化できればコストは一気に下げられるはず」と内装リフォームの実践を4日間で学べる「バリファリペアスクール」を開設することにした。

塗装、ハウスクリーニング、床、クロスの修繕、張替だけでなく、空間作り、色彩デザイン、さらには営業の実践までをカリキュラムに盛り込んだ。卒業生による会員制のクラブも設け、施工、営業事例などの情報を共有できるようにするなど、卒業後のフォローも充実させた。「自己啓発のための研修を社内外で行っていた経験が役立った」と語る。

卒業生が施工現場で必要となる塗料や収納棚などのオリジナル商品を「バリファ」シリーズとして提供できるので、本業の売上げにつなげるのも狙いだ。当初、工務店をターゲットにした受講生集めは予想以上に困難を極めたが、説明会を開催しターゲットを広げたところ、現在までに建材業者や清掃業者などが受講。すでに卒業生が営業、施工まで手がけた成功例も出ている。「大阪だけで賃貸の空室は60万戸、全国に目を向ければ570万戸。マーケットは確実にある」と大熊氏。北海道にある家具販売店や、東京のマンションオーナーなどからも問合せが入ってきている。今後はスクール事業を展開する代理店のネットワークを全国に拡げていく予定だ。

株式会社オークマ工塗
代表取締役 大熊 重之氏
http://www.okumakot.com/
〈バリファリペアスクール〉
http://balispace.jp/shops/balifurrepair
TEL 072-988-1363

会社DATA
設立／1992年
資本金／3,000万円
従業員数／18名
事業内容／部品塗装をはじめ、自社開発の塗料を製造。手吹塗装、電着塗装、静電塗装、スピンドル塗装など幅広い塗装技術を保有し、各種の試作塗装も行っている。

1992年
工業用塗装業としてスタート

◀各種製品向けに幅広い塗装技術を身につけていった

- ●新事業ネタを常に探すアンテナ
- ●リフォーム業界の高コスト構造
- ●研修事業で培ったノウハウ

2011年2月
賃貸住宅内装リフォームのスクール業に進出

◀スクールの生徒募集のための説明会も活発に開いている

▶4日間の研修で内装のためのひと通りの技術が身につく

現 在
研修を受けた卒業生によるリフォーム施工例も

▲内装リフォームで部屋の価値が向上しオーナーにも喜ばれる

Information

【新規パートナー募集説明会】
IT・RT関連技術編
商業施設を顧客にもつ企業と一緒に提案しよう！

商業施設へソフトウェア・ハード機器の納入実績をもつ(株)PFUとジャトー(株)が、集客や売上拡大につながるIT・RT関連技術の提案を募集。コラボレーションで新たな商品を開発し、商業施設に提案する。

日 時 7月15日(金) 15:30～17:00　費 用 無料
場 所 大阪産業創造館4F イベントホール

Information

【新規パートナー募集説明会】
株式会社クラレ編
～新素材の新たな用途・活用製品の提案を募集！～

通気性・断熱性・透光性・衝撃吸収性・吸音性・伸縮性などの特性を持つクラレの新素材〈フレクスター（不織布）〉を活用した新しい製品、用途開発に関する提案を募集。説明会では、同社のニーズや狙いを公開する。

日 時 7月25日(月) 14:00～16:00　費 用 無料
場 所 大阪産業創造館4F イベントホール

金属リサイクル会社が紙リサイクルの新しい可能性に着目

個人情報保護法の施行以来、社内で発生する機密書類をどう処分するかが企業にとって課題となっている。シュレッダーで切り刻んでから廃棄する方法が主流だが、時間がかかる上に切断・破砕した後も文字が判読できるおそれがあるほか、大阪市では事業系ゴミの半分が紙ゴミで環境負荷も大きい。再読不能にするため水に溶かして処理する方法もあるが、外部業者に委託する方式のため、全責任を持って管理しきれない不安がつきまとう。そこで開発されたのが事業所内に設置するタイプの「インハウス型溶解式紙処理機」だ。金属リサイクル、金属新素材開発に次ぐ新たな事業の柱を探していた明浄金属は、取引先が開発したこの装置の代理店になることを決めた。このビジネスの勝算は、装置販売のもう一つ先にあった。

「処理後に出るペーパーブロック（紙の塊）を再生紙原料として売っても利益は出ない。だが、新たな二次利用法を考え出せばビジネスになる」と宮武氏は踏んだのだ。新事業のプロジェクトを任された宮武氏はもともと製紙会社に勤務経験があり、紙のリサイクルに精通していたことが役立った。さっそく大学と連携し、軽くて、繊維質が多く残る特性を生かし、ペーパーブロックを屋上緑化用土壌や全く別の素材として生まれ変わらせる研究に着手した。

だがそのビジネスモデルを確立するにもまず装置が売れなければ話にならない。手当たり次第に営業をかけたが反応は厳しかった。大阪産業創造館が主催する商談会へ出展したところ、ある信用金庫の総務部長が「大量の機密書類の処理に困っている」と導入を決めてくれた。現在、信用金庫の本店で稼働中の装置に対する評価は上々で「今後、各支店にも水平展開できれば」と話す。別の展示会では、ペーパーブロックを土壌にした花を育てる栽培キットが、ある大手メーカー担当者の目に留まり、「ノベルティとして使えばエコの取り組みをアピールできる」と商談が進んでいる。

現在は機密情報を大量に扱う金融機関と環境への取り組みに熱心な大手企業にターゲットを絞り、効率的な営業を行っている。ペーパーブロックの回収量が増えれば「年内には二次利用の事業化にも着手したい」と第三の事業の確立に向け、宮武氏は確かな手ごたえを感じている。

株式会社明浄金属
新素材事業部 装置課 主任
宮武 信二氏
http://www.myojokinzoku.co.jp/
TEL 06-6708-7856

会社DATA
設立／1965年
資本金／2,000万円
従業員数／25名
事業内容／1965年の創業以来、工場で発生する金属廃材の回収、有効利用を基盤に事業を展開してきた。財務省造幣局の指名業者として金属回収も行っている。また、レアメタル、レアアースの各種形状の成膜材料、蒸着材料などの製造も手がけている。

1965年
金属回収・リサイクル業をスタート

◀▲回収された大量の金属（左）と基板

- ●新たな事業の柱を模索
- ●機密書類処理のニーズ
- ●紙に精通した人材の存在

2009年
「ファインペーパーブロック」の代理店に

▲事業所内に設置できる「ファインペーパーブロック」

▲処理後に出てくるペーパーブロック（紙の塊）

◀シュレッダー屑にするのと比べ5分の1の体積になる

現 在
ペーパーブロックの2次利用に向けた研究開発が進んでいる

◀鉢植えの“土壌”に種をまくと植物が立派に生育する

◀ノベルティとして期待される栽培キット

▲大学と共同で“土壌”として使う研究が続けられている

Information

来場企業募集

大阪初・大阪発の信用金庫大商談会！府内10信金のイチオシ企業が大集合

大阪府下の信用金庫がオススメする「大阪の逸品」を扱う企業が多数出展する展示商談会。生産財、消費財、食料加工品分野の各社が独自の技術・商品について展示＆プレゼンテーションを行う。

日 時 7月15日(金) 11:00～17:00　費 用 無料
場 所 大阪産業創造館3F マーケットプラザ

Information

来場企業募集

健康商材販路マッチング大展示会2011

健康関連商品（健康機器・グッズ・サービス・健康食品など）を持つ企業が出展し、卸・小売業者、ネット販売業者など、さまざまな販路を持つ企業とのビジネスマッチングを行う大展示会。

日 時 7月28日(木) 10:30～17:00　※入退場自由・要予約
費 用 無料　場 所 大阪産業創造館3F マーケットプラザ

「ないものを作り出す」心意気で環境基準対応型めっき液を開発

明治末期に工業薬品の小分け業として創業し、戦後にメーカーに転身した沿革を持つ。その後、スポンジケーキ用起泡材に始まり、焼付用ガラス絵具、研磨剤、めっき用光沢材など次々に新分野の開発に取り組んできた。「世の中にないもの、よそがやっていないことに挑む風土は今も社風としてしっかり根付いている」と大塚氏は話す。

2年前に開発した白色の3価クロムめっき液も「業界では、できないといわれていたテーマだった」。自動車のエンブレム、フロントグリルなどに使われる光沢のあるクロムめっきに現在多く使われているのは6価クロム液。だが、6価クロムは有害物質のため、かねてより各メーカーがそれに替わる3価クロム液の開発に挑んできたが、失敗が続いていた。だが、環境対応を求める取引先からなんとか開発してほしいという声は高まるばかり。「できないといわれる技術ほどやりがいを感じる」研究開発陣が奮い立った。

3価クロム液を使うと仕上がりがどうしても黒ずんでしまう。その要因が炭素にあることを特定した。だが、めっき液の安定化に炭素を含む有機酸の使用は必須だ。制約の中で極力炭素を使わない方法を根気強く試し、2年がかりで開発にこぎつけた。

これだけでは済まないのが研究開発に対する執着だ。6価クロムではできなかった、小さい部品などをまとめてめっきをする加工方法を3価クロムで試してみたところ成功した。「酸化力の強い6価クロムではその酸化力が邪魔をしてめっきがつかなかったのだが、それが弱い3価クロムだからこそできた」と岩松氏。それなら、と、さらに小さい金属に加工できるようにと研究を重ね、今では直径1ミリほどの球にもめっきができるまでになっている。

国内で初めて6価クロム液の装飾性、機能性を代替する3価クロム液を開発し、ユーザーに改めて底力を見せつけることができたが、コストや加工の難しさの点でまだ課題は残されている。「さらにいいものに改良を加えていくだけでなく、クロムに替わる合金めっきの開発にも取り組んでいきたい」と大塚氏。「世の中にないもの」へのあくなき挑戦は続く。

奥野製薬工業株式会社
総合技術研究所 取締役所長
大塚 邦顕氏（右）
総合技術研究所 表面技術研究部 次長
岩松 克茂氏（左）
http://www.okuno.co.jp/
TEL 06-6961-1348

会社DATA
設立／1944年
資本金／7,000万円
従業員数／419名
事業内容／各種無電解めっき液、プリント配線板用処理薬品をはじめとする表面処理薬品が全売上げの60%、ガラスの装飾、マーキング向けなどのガラス絵の具をはじめとする無機薬品が10%、膨張材や品質改良材などの食品が30%を占める。

1905年
工業薬品小分け業として創業

▲初の国産製造販売であるベーキングパウダー

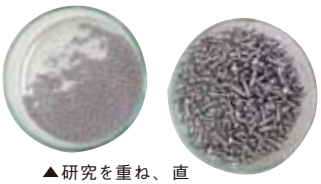
◀各種飲料水瓶やコップなどを中心に発展したガラスカラー

- 難しい研究開発に挑む風土
- 6価クロムからの代替
- ユーザーニーズの高まり

2006年頃
6価クロム液に替わる3価クロム液の開発に挑む

現在
国内で初めて６価クロム液の装飾性、機能性を代替する３価クロム液を開発

▲左が従来品、中央が6価クロム液、右が同社が開発した3価クロム液「ファインクロム」で装飾されたシャワー部品



▲研究を重ね、直径1ミリほどの球にもめっきができるように

出展企業も募集中！

申込締切 7月20日(水)
出費費用 10,000円(税込)

Information

復活！天下の台所 優良商材が大阪に集結
～地方特産の加工品 編～

地域限定のこだわり食品を扱う企業が全国から大阪に集結する恒例の商談会。今回は地方特産の加工品にテーマを絞って開催。新たな商材を探す卸・メーカー・企画会社など食品業界の企業や飲食店は必見。

日 時 8月2日(火) 10:30～16:00　費 用 無料
場 所 大阪産業創造館3F マーケットプラザ

大阪市×金融機関でいっしょにやりまひょ 中小企業応援団 PROJECT
www.sansokan.jp/supporters/

大阪市の中小企業支援拠点「大阪産業創造館」と、在阪の金融機関が協同して中小企業の皆さんの販路開拓や売上拡大を応援する取り組みです。
次号より中小企業応援団タイアップ企画がスタート！各金融機関オススメの企業を取材します！乞うご期待！

6»8月EVENT information

June »» August 2011

ビジネスに直結する商談会やセミナーをはじめ、ビジネスネタが見つかる交流会など、
大阪産業創造館で開催されるものを中心に紹介。
「ビジネスに役立つスキルを身につけたい！」「ビジネスパートナーを見つけたい！」人に最適。

大阪産業創造館 イベントインフォメーション

**大阪産業創造館主催の
イベントの詳細・お申込みは**

ウェブサイト
http://www.sansokan.jp/events/

問合せ 06-6264-9911

※大阪産業創造館主催以外のイベントは、
各主催団体にお問合せください。

※下記イベントの内容は変更することがあります。また、満席になり次第、締め切りになることもあります ※特に注釈のないものは税込み料金
※大阪産業創造館が主催するイベントのご参加には事前のお申込みが必要です
※お電話・メールでのお申込み受付はしておりません。インターネットからお申込みください

解説 ＝開催時間 ¥＝費用 ＝場所 ☎＝問合せ

学ぶ

【省エネ・コスト削減対策セミナー】《店舗編》
利益を生み出す省エネ対策とは
▶6月20日(月)
省エネ法に加え、東日本大震災の影響による節電や電力調整が検討されるなど、中小企業にとっても喫緊の課題。《省エネ＝コスト削減＝会社の利益》となった店舗での事例をもとに、わかりやすく解説。【受講無料】
講師：多田技術士事務所 代表 多田和夫氏

14:00～16:00
¥無料
大阪産業創造館6F 会議室AB

学ぶ

【ベーシックセミナー】
「サービス残業代」「未払い残業代」請求への対策
▶6月20日(月)
「社員に裏切られた！」と相談に駆け込んでも時すでに遅し。事前の対応でムダなトラブルを回避することこそが、経営者に求められるリスクマネジメントの第一歩。具体的実例をまじえてわかりやすく解説する。
講師：藤井社会保険労務士事務所 所長 藤井恵介氏

18:30～21:00
¥1,000円
大阪産業創造館5F 研修室AB

学ぶ

中堅・中小企業のための医療機器産業新規参入のポイント
▶6月22日(水)
これまで中堅・中小企業の医療機器産業への新規参入を支援してきたコンサルタントを講師に迎え、今後の医療機器産業の動向や新規参入するために必要なノウハウなどを実際の事例を交えながら講演する。
講師：三菱UFJリサーチ＆コンサルティング(株)
総合コンサルティング部
チーフコンサルタント 畦地裕氏

14:00～16:00 ¥1,000円
大阪産業創造館4F イベントホール
☎ロボットラボラトリー 06-6347-7877

学ぶ

【ものづくり経営力強化セミナー】
製造業のWEB活用「売れる」ホームページの仕掛け、教えます！
▶6月22日(水)
BtoBの中小製造業が対象の、ホームページによる販路拡大や新規獲得に必要なポイントを学ぶセミナー。WEB活用で成功した企業の事例も交えながら、引き合いのくるホームページの大原則について学ぶ。
講師：(株)アイティ総合研究所 取締役 坪内利文氏

18:30～20:45
¥1,000円
大阪産業創造館4F イベントホール

学ぶ

【経営者のためのワークショップ】
お客様アンケートとマーケティングのポイント
▶申込締切:6月22日(水) ※申込多数の場合は、抽選
開催日:6月29日(水)・8月3日(水)
ヒット商品を生み出すには消費者の深層心理を探ること、そこから潜在ニーズを取り出すスキルが必要。「蒸気レスIH」などの開発に携わった講師がこれまでに集計したアンケートデータをもとに、アドバイスを行う。
講師：(株)アイ・キューブ 代表取締役 広野郁子氏

各回14:00～17:00
¥18,000円
大阪産業創造館17F ルームA

学ぶ

【強い組織づくりプロジェクト】《運用・組織開発》
変化の時代に必要なチーム型組織運営の実際
▶6月24日(金)
経営者と社員が知恵とチカラをあわせられる「場（風土）」をつくり、方向性を共有し、アイディアや意見・情報を汲み上げ、一体となって課題解決や職場改善を進めていくチーム型組織の運営方法について、事例をもとに学ぶ。
講師：LLC(合同会社)チーム経営 代表 博野 英二氏

18:30～20:30
¥1,000円
大阪産業創造館6F 会議室AB

学ぶ

【強い組織づくりプロジェクト】《特別講演》
世界が注目する人材育成～丁稚のすすめ
▶6月27日(月)
現代では敬遠される徒弟制度を今なお続け、厳しい条件にもかかわらず各地から若者が集まる横浜の家具メーカー秋山木工。経営者と従業員を招き、同社の人材育成と、育成する側／される側の想いを、講演と映画から学ぶ。
講師：(有)秋山木工 代表取締役 秋山利輝氏

13:30～17:30
¥2,000円
大阪産業創造館4F イベントホール

学ぶ

【ベーシックセミナー】
営業力を社内で強化して、ワンランク上の会社をめざそう！
▶6月27日(月)
あらゆる企業に必要なスキルが「営業力」。しかし、個人のノウハウやスキルに依存しがちで、会社全体でスキルアップに取り組んでいる企業はなかなか少ないもの。この講座では全社的な仕組みづくりのポイントについて解説。
講師：(有)プロフィット 代表取締役 戸田浩司氏

18:30～21:00
¥1,000円
大阪産業創造館5F 研修室AB

学ぶ

【EPEER エンタープライザーコース】
先端テクノロジー概論
▶申込締切:6月27日(月)
開催日:7月13日～8月31日 ※全6回、すべて水曜日
これまでの受講生9割以上が「満足、役に立った」と回答した人材育成プログラム。先端技術を活用して、既存製品の改良や新たな製品開発、新規事業立ち上げをめざす方を対象とした短期集中、少人数制講座。
※応募多数の場合は、エントリーシート記載内容をもとに選考

各回19:00～21:00
¥20,000円
ロボットラボラトリー(大阪駅前第3ビル 16階)
☎ロボットラボラトリー 06-6347-7877

学ぶ

製造業のWEB活用塾
～実践で学ぶ！販路拡大につながるWEB講座～
▶申込締切:7月1日(金)
開催日:7月16日～9月10日
※全5回＋事前面談1回、個別面談1回、すべて土曜日
ネットを利用した営業活動に積極的に取り組みたい製造業のための実践型講座。サイトの現状分析から始め、グループワークを通じて講義でのノウハウを実際に活用しながら「売れる」ホームページづくりをめざす。
講師：(株)アイティ総合研究所 取締役 坪内利文氏

各回13:00～18:00
¥45,000円
大阪産業創造館14F 会議室、5F PC実習室

学ぶ

【強い組織づくりプロジェクト】《採算意識向上》
会計から見た組織づくり
～数字意識・資金管理・目標管理～
▶7月4日(月)
会計を会社の業績を把握し、税金申告のためだけに使うのはもったいない。会計を活用し部門別採算を徹底することで、能動的で主体的に活躍する社員を育てることができる。全員参加型組織をつくるポイントを解説。
講師：税理士法人ブレーントラスト 代表税理士 長濱晋氏

18:30～20:30
¥1,000円
大阪産業創造館6F 会議室AB

学ぶ

【ものづくり経営力強化セミナー】
製造業における新製品・新規事業開発の手法を学ぶ
▶7月4日(月)
新製品・新規事業成功のポイントは「コンセプト」。自社ブランドの新製品開発に成功した製造業の事例も取り上げながら、はじめてでも成功につながる製品開発の手法を製造業向けにわかりやすく説明する。
講師：S&Kコンサルティング LLP 佐藤美雪氏

18:30～20:30
¥1,000円
大阪産業創造館6F 会議室E

学ぶ

【ものづくり経営力強化セミナー】〈ベトナム編〉

ものづくり企業海外進出セミナー

▶7月7日(木)

ベトナムで事業展開を行う経験豊富な講師によるセミナー。中小製造業の海外進出・海外戦略に関するヒントや、ベトナム公営企業が開発する工業団地の実情などを交え、海外進出に必要なポイントを多角的に学ぶ。

講師:ビンズン省公営企業ベカメックス マーケティング部
日本市場担当副部長
(有)越南屋 代表取締役 植松完二氏

18:30～19:30 ※交流会 19:30～20:30
¥無料 ※交流会参加の場合は500円
西淀川中小企業会館3F 会議室(社団法人西淀川工業協会)

学ぶ

【ナレッジセミナー】

「ぷよぷよ」誕生の舞台裏を話す上で欠かせない、プロジェクトチーム作りの話

▶7月12日(火)

会社の運命を変える商品・サービスは「何か考えろ!」からは生まれないー。実際にチームを作り、ゲーム『ぷよぷよ』を生みだした講師が、チーム立上げからプロジェクト成功に導くまでのヒントを、現場での経験をまじえて語る。"新規事業・新商品やサービスを作る"ためのプロジェクトチームを作りたい、という経営者対象セミナー。

講師:立命館大学 教授 米光一成氏

19:00～21:00 ¥1,000円
大阪産業創造館4F イベントホール

学ぶ

【ベーシックセミナー】

決算書の読み方ポイント講座

▶7月12日(火)

税務申告や銀行融資のためだけに決算書を作成しているのではもったいない。決算書から状況を読み取る力をつけ、自社の成長事業や改善点を可視化できるように、決算書の読み方をポイントを絞ってわかりやすく解説。

講師:石橋経営会計事務所 所長 石橋 研一 氏

18:30～21:00
¥1,000円
大阪産業創造館5F 研修室AB

その他

【合同 新規パートナー募集説明会】

インバウンド観光ビジネス編 ～訪日中国人など外国人観光客向け 新サービスを開発しよう～

▶7月15日(金)

鉄道会社・旅行社・デパートなど大阪を中心とした関西全域の観光事業に携わる企業が、外国人観光客向けの「ツール」「イベント提案」など、新サービス開発に関するビジネス提案を募集する。説明会では、各社のニーズや狙いを公開する。

11:00～12:30
¥無料
大阪産業創造館4F イベントホール

商談する

大阪初・大阪発の信用金庫大商談会! 府内10信金のイチオシ企業が大集合

▶7月15日(金) ※入退場自由・要予約

大阪府下の信用金庫がオススメする「大阪の逸品」を扱う企業が多数出展する展示商談会。生産財、消費財、食料加工品分野の各社が独自の技術・商品について展示&プレゼンテーションを行う。

11:00～17:00
¥無料
大阪産業創造館3F マーケットプラザ

その他

【新規パートナー募集説明会〈IT・RT関連技術編〉

商業施設を顧客にもつ企業と一緒に提案しよう!

▶7月15日(金)

商業施設へのソフトウェア・ハード機器の納入実績をもつ企業が、集客や売上げ拡大につながるIT・RT関連技術の提案を募集。コラボレーションで新たな商品を開発し、商業施設に提案する。

15:30～17:00
¥無料
大阪産業創造館4F イベントホール
☎ロボットラボラトリー 06-6347-7877

その他

【新規パートナー募集説明会】

湯快リゾート編 ～ホテル・温泉ビジネスに 新たな企画・商品を提案しよう!～

▶7月15日(金)

西日本で温泉旅館(温泉ホテル)の運営を行う湯快リゾート株式会社が、本物の"寛ぎ"を手頃な価格で様々な方々に気軽に楽しんでいただけるよう、新たな企画・商品・サービスを幅広く募集する。

13:30～15:00
¥無料
大阪産業創造館4F イベントホール

その他

【新規パートナー募集説明会】

株式会社クラレ編 ～新素材の新たな用途・活用製品の 提案を募集!～

▶7月25日(月)

通気性・断熱性・透光性・衝撃吸収性・吸音性・伸縮性などの特性を持つクラレの新素材〈フレクスター(不織布)〉を活用した新しい製品、用途開発に関する提案を募集。説明会では、同社のニーズや狙いを公開する。

14:00～16:00
¥無料
大阪産業創造館4F イベントホール

学ぶ

【スペシャルセミナー】

前例なき事業立ち上げに成功し、業界に挑む経営者の考え方とは

▶7月26日(火)

74年ぶりに独立系保険会社として創業したライフネット生命保険。出資を打診した企業には悉く断わられ続ける毎日。しかし、出口治明氏は逆境の中で130億円もの資本金を集めることに成功したー。新規ビジネスの開拓秘話を語る

講師:ライフネット生命保険(株) 代表取締役社長 出口治明氏

14:00～16:00
¥1,000円
大阪産業創造館4F イベントホール

商談する

復活!天下の台所 優良商材が大阪に集結 〈地方特産の加工品 編〉

▶8月2日(火) ※入退場自由・要予約

地域限定のこだわり食品を扱う企業が全国から大阪に集結する恒例の商談会。今回は地方特産の加工品にテーマを絞って開催。新たな商材を探す卸・メーカー・企画会社など食品業界の企業や飲食店は必見。

10:30～16:00
¥無料
大阪産業創造館3F マーケットプラザ

学ぶ

【社長トークライブ】

社員3名、売上高400万からのチャレンジ

▶8月2日(火)

サッカーJリーグで戦うファジアーノ岡山。昨年のスタッフ数は25名、売上高は約7億円。しかしわずか4年前はスタッフ3名、売上高400万円からの出発だった。苦難にぶつかるたびに、克服してきたこれまでの道のりと、これからの企業経営について語る。

講師:(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ
代表取締役 木村正明氏

15:00～17:00 ¥1,000円
大阪産業創造館4F イベントホール

学ぶ

【社長トークライブ】

魚沼で雑誌をつくる会社のはなし

▶8月9日(火)

こだわりの食・ライフスタイルを提案する雑誌「自遊人」は新潟・魚沼で制作発行されている。出版事業だけではなく米づくりにも取り組むなど東京でないことのメリットを最大限に生かした経営を進めている。固定観念にとらわれずビジネスを展開する考え方について語る。

講師:(株)自遊人 代表取締役社長 岩佐十良氏

14:00～16:00
¥1,000円
大阪産業創造館4F イベントホール

ヘルスケア・フロンティア

「薬事法・景品表示法・健康増進法」戦略ワークショップ"実践編"

商品の販売における広告表記やWEB上の表記、取扱説明書の改善方法などについて、事例を交えながら解説。実際の個別案件の添削を行いながらフレームワークをワークショップ形式で学ぶ。

講師:エーエムジェー(株)代表取締役 赤坂卓哉 氏

申込締切 6月16日(木)　開催日時 6月23日(木)14:15～18:15
費　用 20,000円　場　所 大阪産業創造館6F 会議室AB

■ビジネスプラン募集■

IAGベンチャーサポート発表会

関西に基盤を置く経営者が、直接プレゼンテーションを聞き、豊富な経験から事業プランについてアドバイス。プランが認められれば、販路拡大・技術提携・出資などの支援を受けるチャンスも。

7月22日(金)書類必着 ※事前審査あり
大阪産業創造館 IAG運営事務局 ☎06-6264-9817

熱いぞ！大阪ビジネスシーン

新商品開発編

業界を進化させる新トピックスを紹介

「現場の課題」から誕生した金型刃物専用洗浄液

顧客のニーズに応え、金型の稼働率を向上させるための部品や加工技術を次々に世に送り出している新日本テックが、昨年新たなチャレンジに取り組んだ。開発したのは技術ではなく商品、しかも生産性を向上させる「洗浄液」という未知の分野だった。

電子部品や光学部品には粘着フィルムが使われており、これを金型で加工する際、金型刃物に粘着剤がつき、生産効率が悪くなる。従来はシンナーを用いて粘着剤を取り除いていたが、環境にも人体にも悪影響を及ぼすばかりか洗浄に多くの時間を要していた。そこで和泉氏はシンナーに替わる商品の開発を思いつき、異業種交流の中からヒントを得て天然由来成分の洗剤で粘着剤をはがす方法にたどり着いた。金型と粘着剤の境界に洗浄液が入り込み、従来と比べ約二分の一の時間で粘着剤をきれいにはがせるようになった。「生産性も上がるし、環境にも人体にもやさしい」と和泉氏。

「とれ太」というネーミングも決まったが、最大の課題は「どう売るか」だった。大阪産業創造館から専門家の派遣を受け、商品コンセプトの作り込みからとりかかった。パッケージには「金型・刃物に付着した頑固な粘着剤を除去」と訴求ポイントをわかりやすく表示。価格設定についても原価を積み上げるやり方ではなく、従来法からのコストダウン額をもとにその価値を価格に反映させた。売価がばらつかないよう販売も代理店を使わず、ネット直販にこだわる。「とれ太」シリーズの商品も続々開発予定で「新日本テックだったらなにかやってくれるという期待に応えたい」と意気込む。

▶「とれ太」の文字は金属をイメージしたデザインとなっている。価格は400ml入りのスプレー式ボトルで7,000円(税別)。

株式会社新日本テック

代表取締役社長　和泉 康夫氏
http://www.sntec.com/
TEL 06-6911-1183

会社DATA　設立／1953年
資本金／1億円　従業員数／75人
事業内容／電子部品の製造に必要な超精密金型部品の製作を手がける。和泉氏が掲げるのは旬のネタ（時代が要求する技術）を鮮度よく（タイムリーに）提供する「すし屋型ものづくり企業」だ。

会社の経営課題、明確になっていますか？

経営にかかわるさまざまな分野の専門家を御社の事業所・工場・店舗に派遣し、現場の状況を確認しながら、効果的に課題を解決していく。

対　象　大阪市内の中小企業経営者、個人事業主　派遣場所　大阪市内の事業所・店舗・工場など
派遣料　12,000円／1回 ※大阪市が費用(36,000円／1回)の3分の2を助成しています。
問合せ　大阪産業創造館 経営相談室(あきない・えーど)☎06-6264-9838

http://www.sansokan.jp/akinai/demae1cho/

サンソウカンのおとうさん

ミッキーらっしゃい！の部屋

大阪産業創造館の若手経営者・後継者のためのビジネススクール「なにわあきんど塾」を担当するミッキーが、塾でのひとコマを紹介する新コーナー

大阪産業創造館が開業し、私が最初に担当した“なにわあきんど塾”16期で、とても印象に残っている社長さんがいます。

10年前の合宿の夜、この社長と熱く語り合いました。彼は某大手銀行に勤めていた頃、ソマリアでの紛争に強く関心を持ち、銀行で何かできないかと思ったそうです。結局、銀行を辞め、語学を学び、仲間とともに翻訳会社を興しました。海外の正確な情報が日本でほとんどまともに翻訳されていない状況を憂えてのこと…。

「創業当時は四畳半の狭い部屋で、パンの耳をかじりながら暮らした」という話を聞き、私自身も20代の頃、リサイクルを訴えながら仲間とともに空き缶を拾いながら東海道を一円も使わず旅したことを思い出し、激しく共感。そう、夢はお互い“世界平和”なんです。彼は今もその夢を追い続けています。もちろん私も！

追伸：この3月、10年ぶりに彼を訪ねて東京へ出張したのですが、そこで大震災に遭遇。滅多に行かない東京で、日本の激動期が始まる瞬間を彼とともに体験したことに、何かめぐりあわせのようなものを感じました…。

WIPジャパン株式会社
代表取締役 福良雄氏
http://japan.wipgroup.com/

大阪産業創造館
マネジメント支援チーム
シニアプランナー
中根 巳貴男（みきお）

数々の講座やワークショップを担当するベテラン。参加者からも慕われ、毎日 山のような近況報告が届く。愛称ミッキー。

「なにわあきんど塾」▶http://www.sansokan.jp/akindo/

次代を担う経営者・後継者のための塾「なにわあきんど塾」

大阪で25年続く若手経営者・後継者のためのビジネススクール。時代・環境の変化に柔軟に対応し、会社を存続・発展させていくリーダーになるために必要な視点や心構え、経営計画をつくる力、実践のためのスキルに至るまで、経営マインドを刺激する材料がふんだんに盛り込まれています。

新人編集者マツバラの道場破り企画！

社長！好きなんです！

あかん、やっぱり好きやわ…。というわけで始まりました「社長！好きなんです！」。独身三十路女マツバラが「勝手」に一目惚れしてしまった会社を「強引に」取材する極私的訪問記。ステキな出会いを求めて、今日もOSAKAの町をさすらいますっ！この連載、いつまで続けられるか、乞う、ご期待！！

ラブ♥ポイント

其の一「好きこそ物の上手なれ」を徹底的に追求するポリシー
其の二「攻め＆継続」がモットー
其の三「俺、やっぱり無理っす」的なションボリ草食系ではなく、戦略的肉食系社長

マツバラ、今月も一発で撃沈!!

西淀川区に航空機産業のニューウェーブ現る

今回紹介する企業は、中小企業の宝箱、西淀川区にある「明和機工株式会社」。製缶加工を主な事業としていたが、今は主に航空機の部品を作っている。現三代目社長は、元々流通出身で、30歳にして全くの異業界に飛び込んだという経歴の持ち主。業界に入って数年で、今までの事業を縮小して航空機産業に参入。きっかけはボーイング777の開発、大手航空機部品メーカーからの引き合いがあったのだ。しかし、巨額の設備投資をしたり、航空機産業の特性（軽い・安全・品質重視）をクリアするのは大変なハードルだ。「ものづくりが好きだから」という気概の下、「努力と持続が結果を生む」というモットーを掲げ、「いかに業界に馴染み、社内でその状況を共有できるか」と考えた。そこで、少人数故にできる「スピードのある決断と実行」を粛々と行ったところ、大阪でも有数の航空機部品工場に成長。今では、航空防衛の国際品質規格であるJISQ9100も取得、防衛庁関連の部品も多数加工している。そして一番の特長である技術が、大型の同時5軸加工機を駆使する切削技術だ。重量200kg超の材料から、長さ3m以上、重量10kgほどの部品を削りだすという。独自の特殊な切削技術も駆使して作り上げられた製品の精巧さも見逃せない。

今月の「スキ！」社長
代表取締役 小宮 光弘 氏

一問一答

問い・大阪とは？
私を育ててくれた町

問い・働くとは？
楽しいことを楽しくやる。

社長自慢の切削加工機。ハンパない大きさにドキドキしっぱなし。

明和機工株式会社
☎06-6471-1863

b-platz pressは、WEBでも閲覧できます！
※バックナンバーも公開
http://www.sansokan.jp/press/webmagazine/

賢者は先人に学ぶ！⑱

上山 英一郎（うえやま えいいちろう）
（1862・1943）
和歌山県出身

KINCHO（大日本除虫菊）の創業者で、世界で初めて蚊取線香を発明。外貨獲得策として除虫菊の栽培を奨励し、貧困に苦しむ農民に生活の糧を与えるなどの面でも貢献した。

鶏口となるも牛後となる勿れ

中国の歴史書「史記」の一節で英一郎が信条としていた言葉。小さい集団であっても、その中で長となる方が、大きな集団の中で尻に付き従う者よりも良いという意味。
これに因んだ鶏マーク「金鳥」は1910年に商標登録された。

KINCHO

「大阪企業家ミュージアム」
場所 大阪産業創造館 地下1F
入館料 大人1名300円
休館日 日・月・国民の祝日、年末年始、お盆
開館時間 10:00～17:00（水曜のみ20:00）
※団体見学の場合は事前にお申込みください
TEL 06-4964-7601
URL http://www.kigyoka.jp/

独自の技術・戦略を持つオンリーワン企業を紹介！

アタック！オンリーワン

vol.099

▶ナノ粒子までの微粒化を実現する、薄膜旋回型高速ミクサー「フィルミックス」。

燃料電池の未来を担う 高速攪拌機のパイオニア企業

大手企業の技術者として経験を積んだマッチングナビゲーターが、独自技術を持つ企業を訪問し、技術的な課題や販路開拓に関する悩みの解決を助ける『ビジネスチャンス倍増プロジェクト』。このプロジェクトで出会ったオンリーワン企業を紹介！

●

国産初の高速攪拌機「ホモミクサー」を世に送り出して以来、高速攪拌機のパイオニアとして、プライミクス株式会社は産業界に大きく貢献している。取引先は医薬品から化学、化粧品、食品、エレクトロニクス、エネルギーなど幅広い。「たとえば、自動車の塗料は、いろんな色や成分を混ぜて作ります。どんな加工品にも“混ぜる”技術は必要なんです」と古市氏。高度な攪拌技術は、EV(電気自動車)などに使われる燃料電池や携帯電話などのリチウム電池電極材、半導体の封止剤、ディスプレイ材料、先進医療の医薬品など、先進的な分野にも不可欠な技術。「用途は違っても、当社の技術には、研究者が唱えていた攪拌技術の限界を超える領域の“ナノ単位の微粒化、均質化”が求められているのです」。

その高い技術力の結集が、薄膜旋回型高速ミクサー「フィルミックス」だ。従来の羽根のせん断力で混ぜる方式ではなく、高速旋回するホイールの遠心力で材料を容器内壁とホイールの間に集め、回転による速度差から生まれる応力によって、微粒化、均質化を可能にしている。この仕組みは、これまでの高速攪拌機では実現できない、ナノメータの微粒化を可能にした。「フィルミックスを組み込んだ連続プロセスが可能な電極材料の製造装置は、すでに国内外の電池製造各社に研究機として納入されています。今後、これらが生産システムに採用され、世界の電池生産を担う時代が来ると確信しています」と、同氏は語る。

プライミクス株式会社
代表取締役社長 古市 尚氏
http://www.primix.jp/
TEL 06-6458-7531

「攪拌機の常識をくつがえすフィルミックスは、従来機の約2倍の周速度で、ナノレベルの微粒化を実現。全国発明賞など、数々の賞を受賞しました。
会社DATA　設立／1949年
資本金／8,019万円
従業員数／205名

大阪産業創造館 ビジネスチャンス倍増プロジェクト事務局　TEL 06-6264-9898

詳細はこちら ➡ http://www.sansokan.jp/bcbp/

製造業限定!!

製造業のWEB活用塾

～実践で学ぶ！販路拡大につながるWEB講座～

「ホームページでの問い合わせ、引き合いを増やしたい」「新しく引き合いの取れるホームページを立ち上げたい」という製造業の方を対象にした少人数制の講座。

申込締切 7月1日(金)　開催日時 7月16日、7月23日、8月6日、8月27日、9月10日
※全て土曜日、時間はいずれも13:00～18:00　※全5回＋事前面談1回、個別面談1回
費　用 45,000円　主　催 大阪産業創造館

関連セミナーも！

【ものづくり経営力強化セミナー】
6/22(水) 18:30～20:45
製造業のWEB活用
「売れる」、ホームページの仕掛け教えます！

申込みは下記URLから
http://www.sansokan.jp/mono-web/

「社長にイエローカード」タグチマンが行く

大阪産業創造館
経営相談室
室長 田口 光春

経営相談室のコンサルタント6名をまとめる。休日は少年サッカーの審判をつとめ、夜更けには徳利片手に経営者への熱い思いを語る頼れる親父。

アイデア創出には心に余裕が必要！

経営者が抱える課題解決の相談窓口「経営相談室」
http://www.sansokan.jp/akinai/

今回の原稿執筆には、大変な生みの苦しみを味わっています。締切2日前になっても頭は真っ白。約束を守ることはビジネスマンの最低のマナーなのに。どうしよう！ということで、今までどのように原稿を書いてきたかを振り返る反省からスタートしてみます。ひょっとして何かよい知恵が出るかも…。

いつもは掲載月の特集テーマを聞き、それに従って構想を練っていきました。優しい編集担当者は「特集にこだわらなくていい」と言ってくれますが、何かよりどころがないと進みませんから。テーマを頭の隅に置いてはいましたが、しゃかりきに原稿を書こうとはしませんでした。テーマに関係のない本を読んだり、テレビを見たり、通勤電車で車窓をボーッと眺めたり。そんなことをしていると、何となく構想が出てきました。しかし、今回は締め切りが迫れば迫るほど真っ白に。

ここまできてはたと気がつきました。これって新市場・新分野開拓、新製品開発に取り組むときの状況に似ていることに。「新しい市場に参入しなければ」「新製品を…」と追い込まれて闇雲にもがいても決してよい結果は出ません。アイデアを上手く生み出している人たちは、よく街中を無目的にぶらぶらされています。そうした中で気付きを見つけられています。無目的といいながら絶えず問題意識・課題を抱えているから気付くのです。ドラマの台詞ではないですが、会議室では決してよいアイデアは生まれてきません。遊び心が必要なのです。

さらに関連する(しそうな)人たちや会社との付き合いだけでは決してよいアイデアは生まれません。むしろ違う業種、芸術やスポーツなど全く違う分野に玉手箱があるのです。5月にオープンした大阪駅周辺の商業施設の散策でもきっと何かのヒントが見つかります。たとえBtoBを事業としていても。

さあ、原稿も納期どおり完成したし、商売のネタを拾いに、まだ行ったことがない大阪駅近辺の酒場にでも出陣しよ。次号のことは忘れて。

親の会社を継ぐ？ 継がない？

先生は「後を継いだ」9人の若手経営者
関西学院大学で「後継ぎ」学生に向けた
講義を実施中

大阪産業創造館では、関西学院大学と連携して実家が事業を営む学生を対象に、自身も家業を継承した現役経営者が講師となって、世代交代を機に展開する新規事業や業態転換などの可能性について解説する講義「次世代の後継者のための経営学」を実施しています。

そもそもこの講座を企画したのは、ある製造業の社長さんの言葉がキッカケでした。「今の経営状況では、息子に『継いでくれ』とはいえない。何とかあと数年で、息子から『親父の会社を継ぎたい』と言ってもらえる会社にしたい」。

日本の中小企業の多くがファミリービジネス。でも廃業の理由に「後継者不在」を挙げる会社が多いのも現実です。（思えば、うちの実家も弟が四代目を承継するかどうか何年も決着がついてない！）

事業承継は、継がせるほうにも継ぐほうにも「覚悟」がいる難しい問題。経営者の家に生まれた以上、後を継ぐかどうか決断をしなくてはいけない時期が遅かれ早かれやってくる。継ぐにしろ、継がないにしろ、人生の大決断を後押しする「コトバ」を、若い世代に伝えたい！そんな思いに共鳴してくれた関西学院大学で授業が実現しました。

講師として登場するのは、自身も葛藤の末、家業を継ぎ、そして手痛い経験や障壁を乗り越えて、新しいことに挑戦している若手経営者9人。飲食業、金属加工業、アパレル業など、さまざまな業界の経営者が、自身の生き様と人生哲学を赤裸々に語り、学生からは「先代を超えたと思いますか？」とか「家業を手伝っている時、従業員が気を遣うのが困る」とか「自分の子どもにも継がせたいと思いますか？」…とか、講師がたじろぐ質問も飛び出し、授業は真剣勝負そのもの。学生君にとって、人生の財産となる出会いやコトバが見つかったかどうかわかりませんが、「先人が後進の決断を応援する」取り組みが日本各地に拡がることを切に願います。

大阪産業創造館
チーフプロデューサー 山野 千枝

taking over the family business

Information 大阪市からのお知らせ

6月は「就業差別撤廃月間」です

《しない させない 就職差別》

大阪府では、6月を「就職差別撤廃月間」と定め、「就職差別110番」を設置し、採用面接時等の差別について、相談、関係機関の紹介等を行っています。採用選考にあたっては、応募者の基本的人権を尊重し、就職の機会均等を保障することの大切さについて、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ 大阪府商工労働部雇用推進室 TEL06-6210-9518
※6月22日(水)～24日(金)10:00～18:00

なにわ商い繁盛塾

自分のお店を開業したい方と経営強化をめざす方のセミナー、店づくり相談会等を下記の日程で開催し、あなたのお店づくりをサポートします。

日 時 6月18日(土)13:30～15:00「カフェ業界のいままでとこれから」
15:30～17:00
「売上アップに効く！ネットショップのコピーライティング術」
6月21日(火)13:30～15:00
「飲食店のための震災の影響はこうやって乗り切る」
15:30～17:00「食品事故に対する危機管理」
6月28日(火)13:30～15:00
「定着率を3倍アップできる人材育成術～お金と時間を掛けずに"すぐにやめない"人を作る具体策～」
15:30～17:00
「小売・流通業のための突発リスクに負けない強い経営体質の作り方 ～コアバリューが貴社を救う～」

開催場所 アジア太平洋トレードセンター(ATC)内 ITM棟3F 商い繁盛館
費 用 無料
申込み 電話又はFAXにてお申込みください。※先着順:定員になり次第締切
問合せ 店づくり支援センター「商い繁盛館」事務局
TEL06-6615-5210 FAX06-6615-5265
詳細URL https://www.akinaihanjyokan.com/

次号予告！ 2011年7月10日発行 b-platz pressは…

ボクたちの未来を支える技術を開発してください
こんな時代だからこそ、技術立国NIPPON(仮)

先端医療、代替エネルギー、省エネ、リサイクル、耐震、防犯…。
次世代の産業を支える技術を開発する企業に今後の展望を聞く。

b-platz press ビープラッツプレス

めざせ！日本一オモロイ行政情報

大阪市経済局の中小企業サポート拠点、大阪産業創造館が発行する月刊ビジネス情報紙「b-platz press」は毎月10日発行で、大阪市内の主要施設などで無料配布しています。「b-platz」とは「ビジネス情報の集積の場」の意味。「大阪が元気になるには大阪人が頑張っていることを伝えるのが一番」という理念のもと、大阪で活躍する元気でパワフルな経営者にフォーカスした記事を掲載しています。編集部ではビジネスに役立つ情報、ユニークなビジネスモデル、元気でカリスマ性のある経営者などの情報やご意見をお待ちしています。
e-mail：press@sansokan.jp

編集後記

今回取材に出かけた地域のほとんどが、私にとって未踏の地。大阪に生まれてこの方30年も経つのに、大阪が広くかつディープであることを改めて知りました。特に、西淀川区の「明和機工」さんの取材から帰る道すがら、なにげない街並みがひろがる場所からスゴイ技術が生まれてるんやとしみじみと感じたのでした。

そもそも知らない土地を一人で歩くのが好きで、「孤独」をあえて楽しんでいるのですが、今月号の取材はたまたま夕方の時間帯が多かったこともあって、薄暮の色、夕餉の香り、にわか賑やかになる駅前の景色に「町と人の呼吸」を感じて、ホッとしたのと同時に、郷愁に似た切ない気持ちになりました。やっぱり「町」、好きですワタシ。 （マツ）

b-platz press編集部より 読者のみなさまへ

掲載している企業と読者の間で結ばれるいかなる取引・契約について、その内容及びそれに基づいて発生したいかなる事故・トラブルに関しても、大阪産業創造館は一切責任を負いません。

紙面広告

広告掲載についての詳しい情報はデイジーヒル株式会社のホームページ、もしくは電話でお問合せください。

デイジーヒル株式会社
http://www.daisy-hill.co.jp/ad.h
☎ 06-6536-3924

大阪産業創造館主催

注目の社長が3週連続 サンソウカンに登場！

スペシャルセミナー

前例なき事業立ち上げに成功し業界に挑む経営者の考え方とは

戦後初、74年ぶりに独立系生保を立ち上げた社長の起業物語

74年ぶりに独立系保険会社として創業したライフネット生命保険。出資を打診した企業には悉く断わられ続ける毎日。しかし、出口治明氏は逆境の中で130億円もの資本金を集めることに成功した一。新規ビジネスの開拓秘話を語る。

講　師　ライフネット生命保険（株）代表取締役社長 出口 治明氏
開催日時　7月26日㈫ 14:00～16:00　開催場所　大阪産業創造館 4F イベントホール
費　用　1,000円　申込み　下記WEBサイトからお申込みください。
URL　http://www.sansokan.jp/spsemi/

社員3名、売上高400万からのチャレンジ

3年でJリーグ昇格を果たした企業のこれまでとこれから

社長トークライブ

サッカーJリーグで戦うファジアーノ岡山。昨年のスタッフ数は25名、売上高は約7億円。しかしわずか4年前はスタッフ3名、売上高400万円からの出発だった。苦難にぶつかるたびに、克服してきたこれまでの道のりと、これからの企業経営について語る。

講　師　(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ　代表取締役 木村正明氏
開催日時　8月2日㈫ 15:00～17:00　開催場所　大阪産業創造館 4F イベントホール
費　用　1,000円　申込み　下記WEBサイトからお申込みください。
URL　http://www.sansokan.jp/talk/

魚沼で雑誌をつくる会社のはなし

雑誌「自遊人」に見る本物とは何か、本質とは何か

社長トークライブ

こだわりの食・ライフスタイルを提案する雑誌「自遊人」は新潟・魚沼で制作発行されている。出版事業だけではなく米づくりにも取り組むなど東京でないことのメリットを最大限に生かした経営を進めている。固定観念にとらわれずビジネスを展開する考え方について語る。

講　師　(株)自遊人 代表取締役社長 岩佐十良氏　開催日時　8月9日㈫ 14:00～16:00
開催場所　大阪産業創造館 4F イベントホール　費　用　1,000円
申込み　下記WEBサイトからお申込みください。
URL　http://www.sansokan.jp/talk/

地下鉄「堺筋本町」駅②号・⑫号出口より約200m（徒歩約5分）

大阪産業創造館
〒541-0053 大阪市中央区本町1-4-5
【問い合わせ先】
大阪産業創造館 イベント・セミナー事務局
TEL：06-6264-9911　FAX：06-6264-9899　E-mail：ope@sansokan.jp
受付時間：月～金 10:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）

ここから広がるビジネスチャンス
産創館
http://www.sansokan.jp

サンソウカン　検索